

II. 建築計画

3. ホール施設のコンセプト

ホールの目的：市民の芸術文化創造活動、日常利用、災害時の避難所

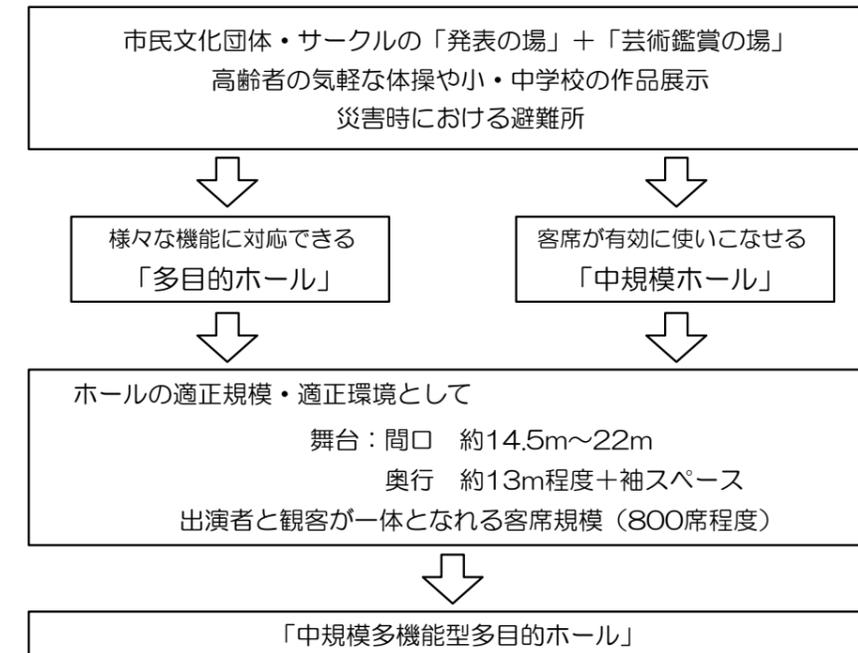
- ・講演会、各種大会、音楽、演劇、ダンス・舞踏、伝統芸能など文化・芸術の鑑賞や発表の場であるとともに、平土間対応も可能にすることで高齢者の気軽な体操や小・中学校の作品展示、また、災害時の避難所など多目的スペースとして活用する。

ホールの性格：様々な機能に適した「多機能型多目的ホール」

- ・音楽や演劇、舞踊など多様な市民文化創造活動や音楽・舞台芸術鑑賞に標準的なレベルで対応し、多目的利用に対して幅広く対応できる「多機能型多目的ホール」とする。

ホールの規模：舞台と客席が一体となれる「中規模ホール」

- ・客席規模は、基本計画をもとに、より良い鑑賞条件が得られ、最大視距離や音響計画の面で舞台と客席が一体となれる800席程度の「中規模ホール」とする。また、可動席収納時には約600㎡の平土間スペースを確保し、避難所としての機能を備えるものとする。



客席から舞台をみる（エンドステージ形式のイメージ）



客席後部床面から舞台をみる（平土間形式のイメージ）